

ご意見	ご意見に対する検討主体の考え方
<p>治水にダムが効力を発揮することは否定致しません。しかし、費用対効果を良く良く検討する必要を申し上げたいと思います。費用負担は私たちに降りかかってくるものです。県負担はいくらなのか、そして地元負担はいくらなのか？これに対して代替案はいくら掛かるのか？更にダムは何年持つのか？維持費は？今のダムが用を成さなくなったら次どうするのか？</p> <p>また、ダム建設は大手ゼネコンが潤い地元にお金が落ちません。ダムは万能であるかと思わせられて、代替案で汗掻くことを嫌って、お手軽コースに流れたがる行政では住民は決して幸せにはなりません。</p> <p>また、代替案はあってもそちらの方が経費が掛かると言う示し方をして騙します。「費用対効果」は破壊された自然環境を修復する費用も盛り込めば、当然ダムを造ってはいかかな物か？という結論になります。</p>	<p>費用対効果については、事業点検においてダム建設に要する費用や事業期間の再確認を行った上で、検討を行っています。</p> <p>また、それぞれの代替案のコストは、今後必要となる建設費、補償費、維持管理費など全てを見込んだ費用を考慮して、比較評価を行い、最も有利な案を採用します。</p>